

調査の概要

1. 調査の目的

区民の港区独自の自主的な取り組みへの評価や意見、及びニーズを把握し、今後の区政運営方針に活用することを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市港区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の18歳以上の男女2000人（外国人含む）

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

平成30年5月9日（水）～ 5月24日（木）

7. 回収数

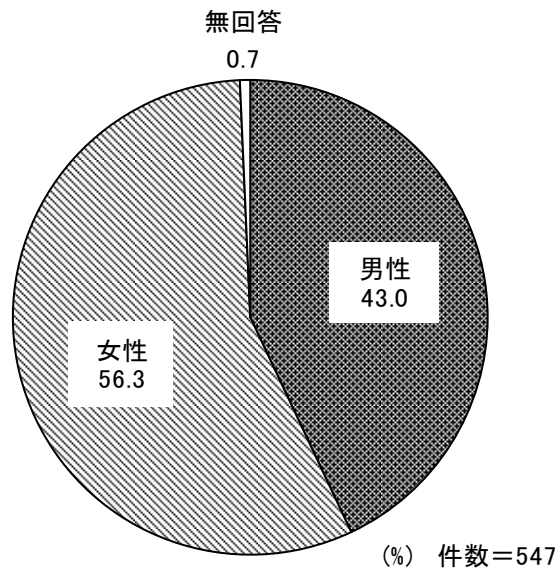
547人（27.4%）

調査の結果

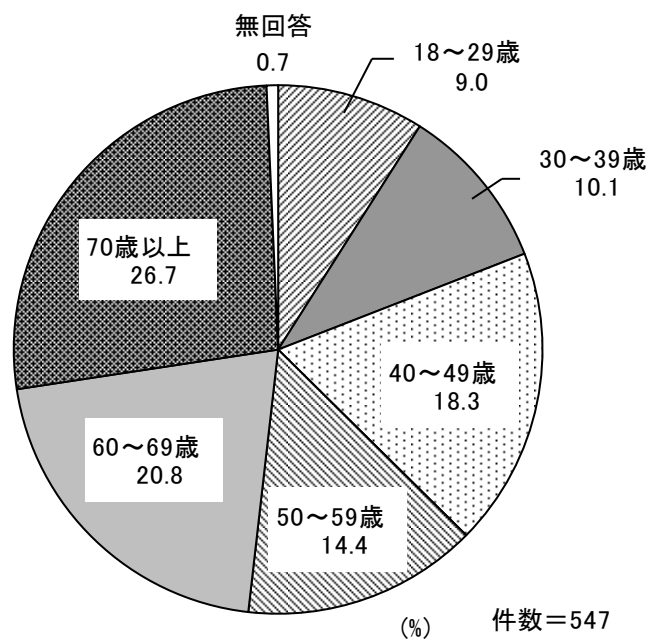
1 対象者の属性

質問1 おそれいりますが、あなた自身について、お聞かせください。
(該当する番号を○で囲んでください)

■性別



■年齢



2. 区政運営方針について

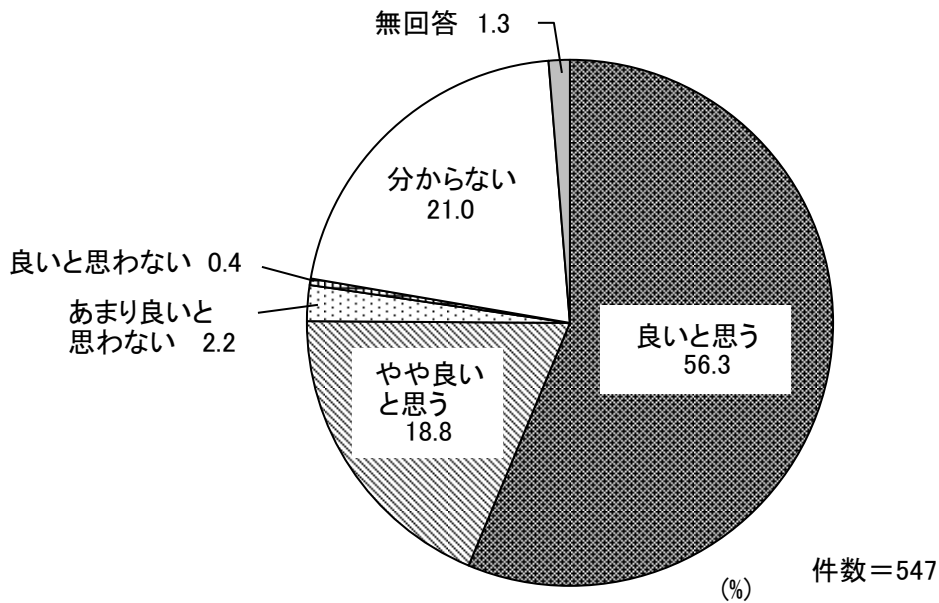
2-1 区政運営方針の取り組みについての評価

- 「港区区政運営方針」に係る取り組みについては、「良いと思う」の割合は56.3%と6割弱を占め、「やや良いと思う」(18.8%)を合わせた75.1%が、良好な評価をしている。一方、「良いと思わない」(0.4%)という強い否定はほとんどみられず、「あまり良いと思わない」(2.2%)を合わせた2.6%が、否定的な評価をしている。また、「分からない」(21.0%)は2割となっている。

質問2 区政運営方針について、次の設問にお答えください。(該当する番号を○で囲んでください)

港区では、平成29年度に「港区区政運営方針」を策定し、『「信頼」と「安心」を高め、暮らしやすいまちづくり』を実現するための取り組みを行いました。

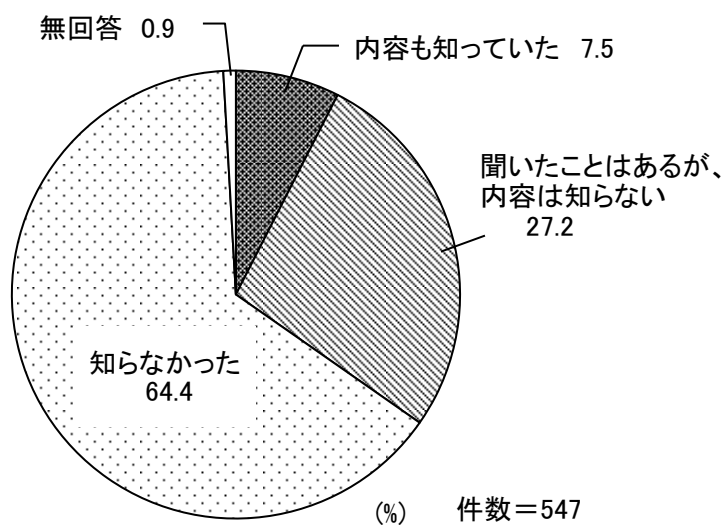
① この取り組みについて、どう思いますか？



2-2 区政運営方針の認知

- 「港区区政運営方針」の認知については、「内容も知っていた」は7.5%であり、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が27.2%で、合わせて34.7%と3割強が認知している。
一方、「知らなかった」は64.4%で6割強となっている。

② 「港区区政運営方針」をご存知でしたか？

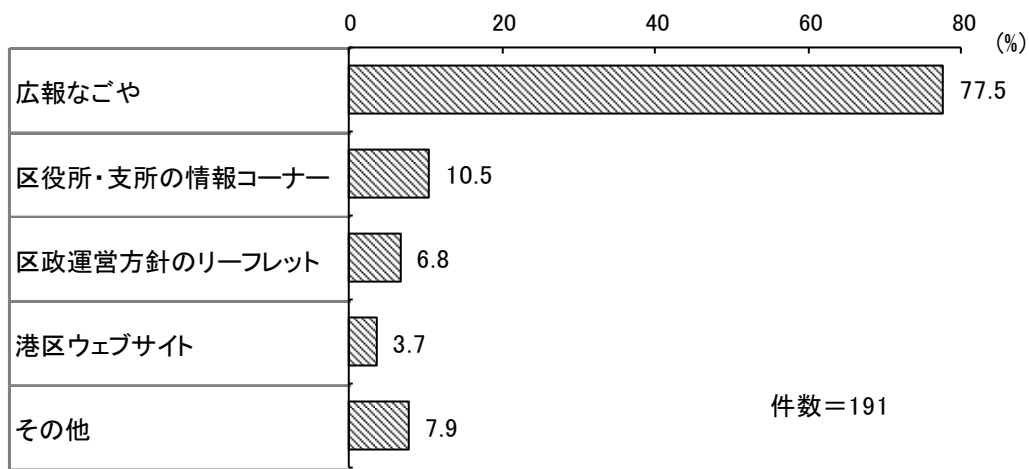


2-3 区政運営方針の認知経路

- 「港区区政運営方針」の認知経路としては、「広報なごや」が77.5%と圧倒的に高く、次いで「区役所・支所の情報コーナー」が10.5%となっている。

②で「1」又は「2」を選ばれた方におたずねします。

③ どのような手段でお知りになりましたか？



3. 港区独自の自主的な取り組みについて

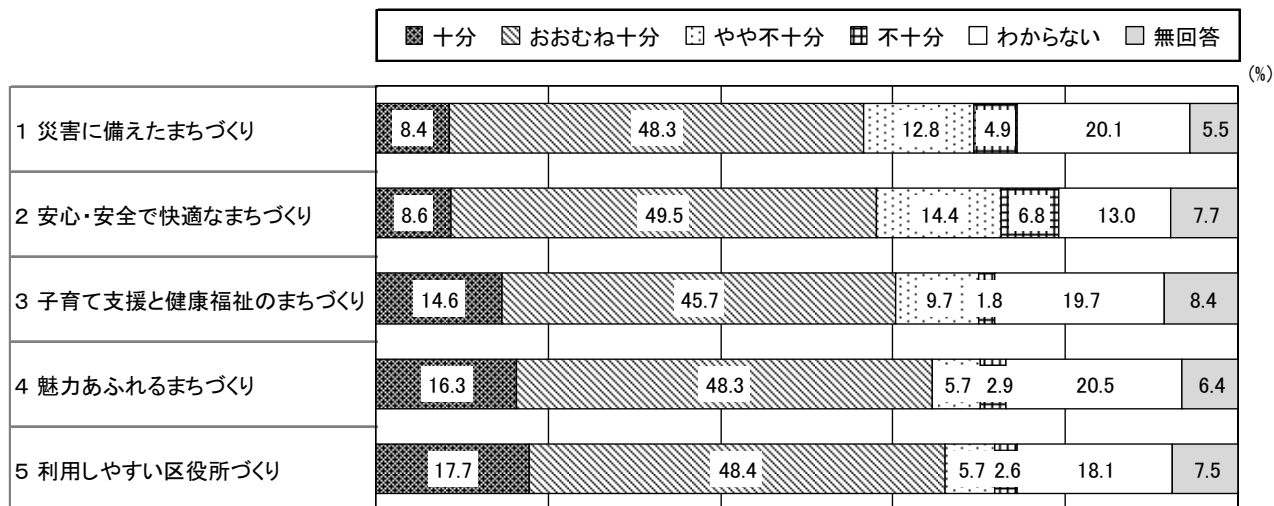
平成 29 年度の実施事業について

○ 港区独自の自主的な取り組みの取組事項とその主な実績については、全項目とも「おおむね十分」の割合が 46～50%と最も多く、それぞれ半数程度を占めている。「十分」を合わせた割合は、「5 利用しやすい区役所づくり」(66.1%)と「4 魅力あふれるまちづくり」(64.6%)、「3 子育て支援と健康福祉のまちづくり」(60.3%)については 6 割以上が充足していると評価し、「2 安心・安全で快適なまちづくり」(58.1%)と「1 災害に備えたまちづくり」(56.7%)についても、6 割弱が充足していると感じている。

一方、「やや不十分」と「不十分」を合わせた不足していると感じる割合は、「2 安心・安全で快適なまちづくり」(21.2%)と「1 災害に備えたまちづくり」(17.7%)については 2 割前後みられ、そのほかの項目では 1 割程度となっている。

質問3 港区役所では、経常的な業務のほか、港区独自の自主的な取り組みをしており、平成 29 年度は次の 1～5 の項目についてさまざまな事業を行いました。

次の各事業について「取組事項」とその「主な実績」をご覧ください、設問にお答えください。
(該当する番号を○で囲んでください)。



3-1. 災害に備えたまちづくり

3-1-1. 「取組事項」と「主な実績」の評価

○ 災害に備えたまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「おおむね十分」(48.3%)が半数近くを占め、「十分」(8.4%)を合わせて56.7%と6割弱が充足と評価している。一方、「やや不十分」が12.8%、「不十分」が4.9%で、合わせて17.7%と2割程が不足と感じている。また、「わからない」が20.1%となっている。

1 災害に備えたまちづくり

取組事項（主な実績）

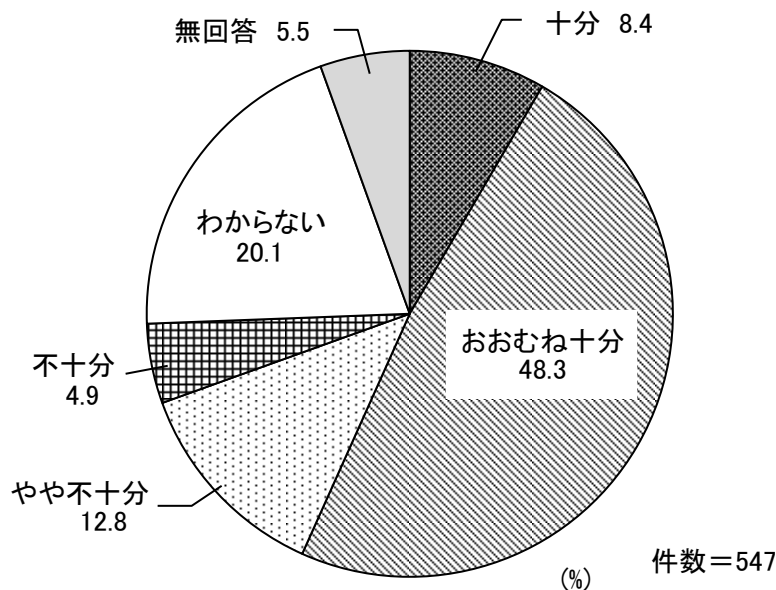
<地域防災力の強化>

- ① 各種防災訓練（総合水防訓練・総合防災訓練、指定避難所開設運営訓練、宿泊型避難所開設運営訓練、災害時医療救護所訓練の実施）（指定避難所開設・運営訓練の学区実施率 100%）
- ② 地域の共助の推進
（ツールを活用した安否確認体制づくりの支援 取り組み学区数 2学区実施）
- ③ 港区防災のつどい（過去の災害から学ぶ、防災に関する講演会の実施 参加者数 350名）
- ④ 防災講座等の開催（防災・減災をテーマにした講座 アンケート満足度 100%）
- ⑤ 災害時健康サポーター養成講座（災害発生時に避難所の「こころとからだ」や衛生環境に配慮できる健康サポーターを養成する講座 参加者数 38名）
- ⑥ 妊婦・乳幼児の親に対する防災教育の充実（子育て家族向けのリーフレット「みんなと学ぼうさいBOOK」を活用した防災教育 116回開催）
- ⑦ 自助力向上の促進・防災意識の啓発
（家具の転倒防止器具の取り付けボランティアの養成・派遣 派遣回数 33件）

<津波災害への備え>

- ⑧ 津波対策事業（学区毎の地域避難行動計画の作成支援 取り組み学区数 3学区実施）

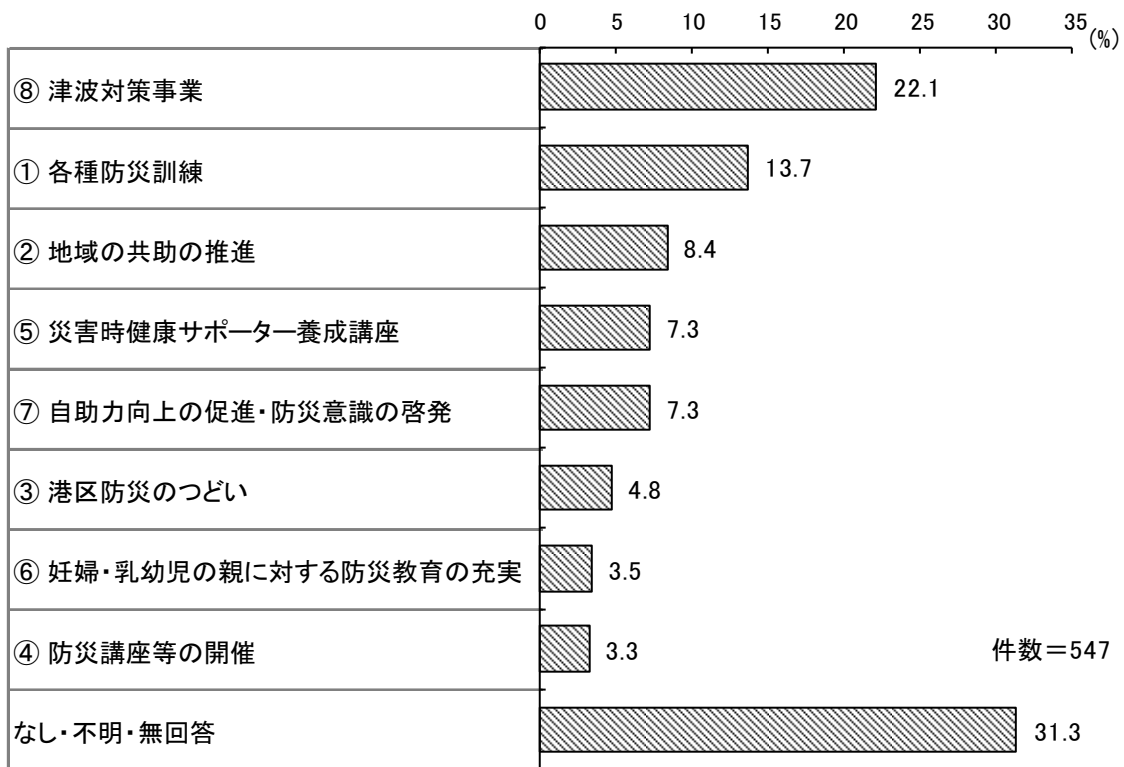
この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



3-1-2. さらに力を入れる事業

○ 災害に備えたまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「⑧ 津波対策事業」が22.1%で最も高く、以下、「① 各種防災訓練」(13.7%)、「② 地域の共助の推進」(8.4%)、「⑤ 災害時健康サポーター養成講座」(7.3%)、「⑦ 自助力向上の促進・防災意識の啓発」(7.3%)が、それぞれ1割前後で続いており、大規模災害に備えた事業の強化の必要性を区民は感じている。

前記、①～⑧の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号(1つ)とその理由をお書きください。



(注: 複数回答あり)

3-2. 安心・安全で快適なまちづくり

3-2-1. 「取組事項」と「主な実績」の評価

○ 安心・安全で快適なまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「おおむね十分」が49.5%と半数を占め、「十分」が8.6%で、合わせて58.1%と6割弱が充足と感じている。一方、「やや不十分」が14.4%、「不十分」が6.8%で、合わせて21.2%と2割以上が不足と感じており、その割合は5項目のうちで一番高くなっている。

2 安心・安全で快適なまちづくり

取組事項（主な実績）

<安心・安全なまちづくり>

- ① 犯罪のないまちづくり（生活安全キャンペーン・自転車盗難防止キャンペーン、防犯灯のLED化や防犯カメラの設置支援）
（重点10罪種の犯罪率（人口10万人あたりの認知件数）478件（前年比-13件））
- ② 交通事故のないまちづくり（交通安全キャンペーン、自転車安心・安全利用教室、交通安全総決起大会 交通事故死傷者数1,011人（前年比-158人））

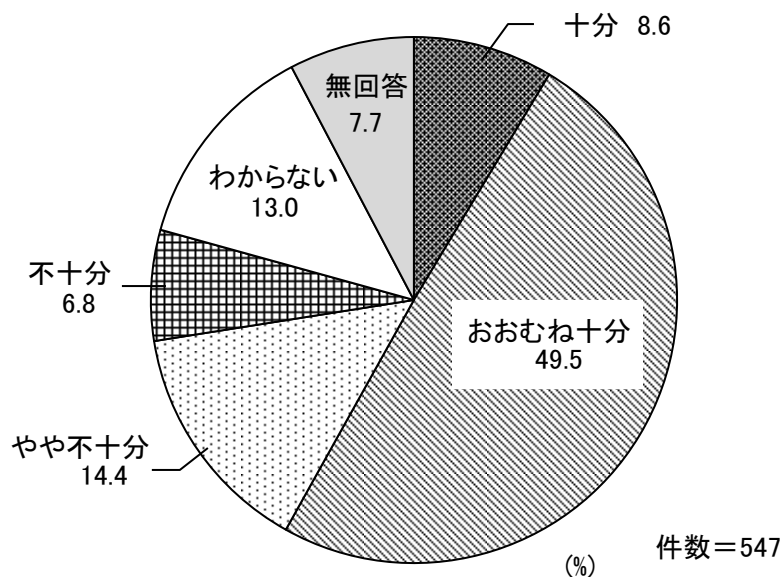
<快適なまちづくり>

- ③ 町を美しくする運動（道路、公園などの清掃活動 空地清掃率87%）
- ④ 空き家対策の推進（管理が適正でない空き家の所有者に対する助言・指導）
- ⑤ 犬猫の適正な飼い方などについての指導・啓発
（街頭キャンペーン等37回、犬猫名札5,234枚配布）
- ⑥ セアカゴケグモによる被害防止（駆除方法・注意喚起の情報発信回数32回）
- ⑦ 庄内川水系の生き物観察会・講演会（藤前干潟を含む庄内川水系の生き物について学び、環境を大切にすることを意識を育む観察会・講演会 アンケート満足度 観察会100%、講演会98%）
- ⑧ 環境デーなごや地域行事
（エコライフキャンペーン参加人数1,485人 講習会等満足度100%）

<青少年の健やかで豊かな人間性が育まれるまちづくり>

- ⑨ 青少年の健全育成（中学生による実践活動報告・講演会、子ども会行事・活動の支援 等）

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）

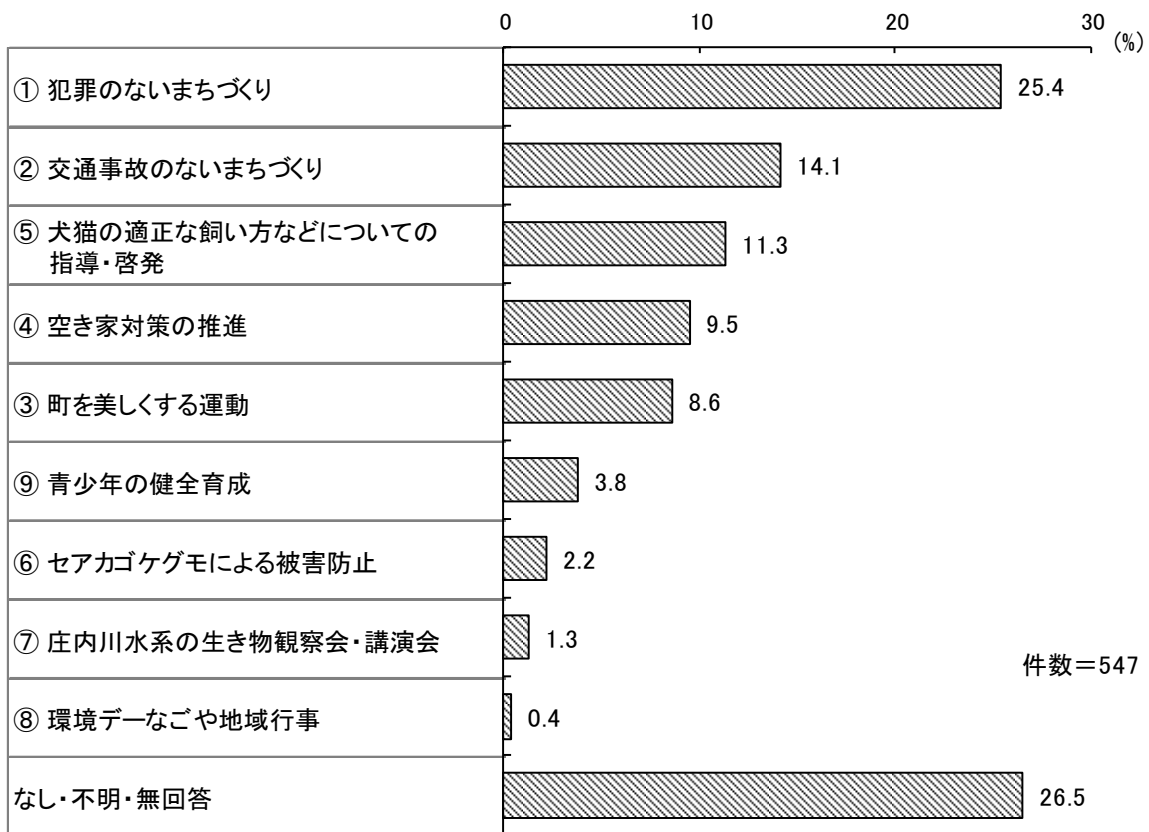


3-2-2. さらに力を入れる事業

○ 安心・安全で快適なまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「① 犯罪のないまちづくり」が25.4%で最も高くなっており、次いで「② 交通事故のないまちづくり」(14.1%)であり、＜安心・安全なまちづくり＞に関する事業が上位を占め、以下、「⑤ 犬猫の適正な飼い方などについての指導・啓発」(11.3%)、「④ 空き家対策の推進」(9.5%)、「③ 町を美しくする運動」(8.6%)が、それぞれ1割前後となっている。

「なし・不明・無回答」の割合が26.5%と5項目のうち一番少なく、区民のニーズが高い分野となっている。

前記、①～⑨の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号(1つ)とその理由をお書きください。



(注:複数回答あり)

3-3. 子育て支援と健康福祉のまちづくり

3-3-1. 「取組事項」と「主な実績」の評価

○ 子育て支援と健康福祉のまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「十分」が14.6%であり、「おおむね十分」(45.7%)を合わせて60.3%と6割が充足と感じている。一方、「不十分」は1.8%と僅かで、「やや不十分」(9.7%)を合わせた11.5%が不足と感じている。また、「わからない」が19.7%となっている。

3 子育て支援と健康福祉のまちづくり

取組事項（主な実績）

<妊娠期からの切れ目のない子育て支援と子ども虐待防止>

- ① 母子健康手帳交付時の妊婦面接（実施率 99.2%）
- ② 赤ちゃん訪問（生後4か月まで）（実施率 95.7%）
- ③ 赤ちゃん訪問（生後4か月から7か月まで）（対象者全員実施）
- ④ 子育てサロン（お母さんたちの交流の場 開催回数 192回）
- ⑤ 子育て応援講座（参加者 11名）
- ⑥ 子育てマップ・子育てカレンダーの発行（マップ 1回、カレンダー 12回）
- ⑦ 子育て相談窓口のPR（子育て家庭に必要な情報が記載されたシールを子ども医療証のビニールカバーに添付して配付 シール配付枚数 1,300枚）
- ⑧ 親学関連講座の開催（アンケート満足度 100%）
- ⑨ 周産期看護連絡会（区内産科医療機関等との連絡会 実施回数 8回）
- ⑩ 港区発達支援連絡会（子育て支援機関との連絡会 実施回数 3回）
- ⑪ 思春期セミナー（セミナー開催校数 18小中学校（実施回数 19回）、中学校との連携 8校）

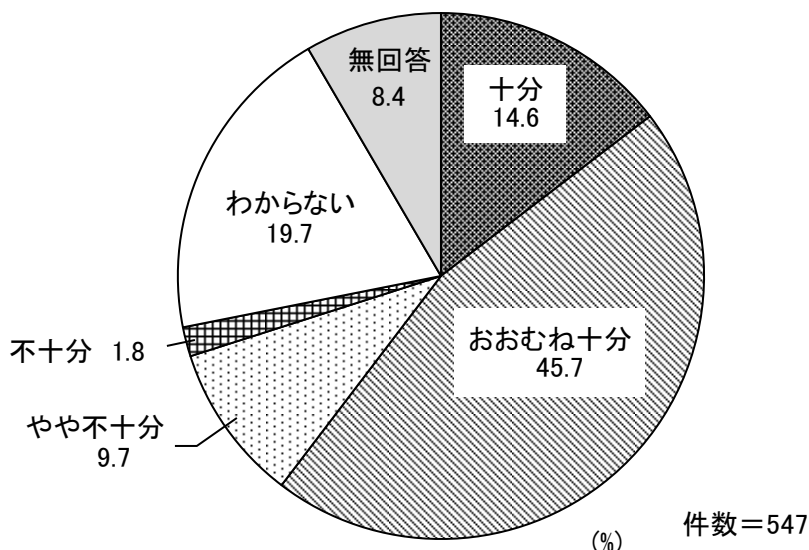
<高齢者・障害者が安心して暮らせるまちづくり>

- ⑫ 共生型サロン「陽まわり」の実施（高齢者、子育て世代などの交流の場 週2回）
- ⑬ 高齢者つどいの広場「ぶち陽まわり・つどい人」の実施（高齢者の方々が自由に集う場を設置 月2回 ※ 8月で終了）
- ⑭ 地域包括ケアシステムの構築（高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会づくり）
- ⑮ 地域サロン活動等支援事業の充実（支援事業実施回数 116回）
- ⑯ 港区ふれあい広場（障害者との交流イベント 参加団体・施設数 41団体・施設）
- ⑰ 障害者の自立支援（研修会回数 全区版 1回・出前講座 12回）
- ⑱ 難病患者医療生活相談事業の充実（医療生活相談事業 実施回数 4回）
- ⑲ 花づくりイベントの実施（行事回数 13回）

<健康に暮らせるまちづくり>

- ⑳ 乳幼児に対するむし歯予防の啓発（むし歯予防啓発用しおり配付数 844枚）
- ㉑ 地域と連携したロコモ予防の推進（ロコモ予防教室のアンケート満足度 98.6%）
- ㉒ 地域と連携した区民の食育推進（講座受講者アンケート満足度 100%）

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



3-3-2. さらに力を入れる事業

○ 子育て支援と健康福祉のまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「⑭ 地域包括ケアシステムの構築」が15.0%で最も高く、次いで「⑬ 高齢者つどいの広場「ぷち陽まわり・つどい人」の実施」(7.5%)が1割弱となっている。そのほかの事業は、それぞれ4%未満とニーズは分散している。

前記、①～⑳の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号(1つ)とその理由をお書きください。



(注: 複数回答あり)

3-4. 魅力あふれるまちづくり

3-4-1. 「取組事項」と「主な実績」の評価

○ 魅力あふれるまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「十分」が16.3%と2割弱みられ、「おおむね十分」(48.3%)を合わせて64.6%と6割強が充足と感じている。一方、「やや不十分」が5.7%、「不十分」が2.9%で、不足と感じる割合は、合わせて8.6%と1割に達していない。また、「わからない」が20.5%となっている。

4 魅力あふれるまちづくり

取組事項（主な実績）

<区民まつり・南陽地域ふれあいまつりの開催>

- ① 港区区民まつり（11月開催 来場者6万3千人）（園児や小中学生の演奏、女性会の民謡踊り、伝統芸能の実演等）（アンケート満足度「たいへん良かった」と「良かった」98%）
- ② 南陽地域ふれあいまつり（11月開催 伝統芸能の発表等）（アンケート満足度「たいへん良かった」と「良かった」94%）

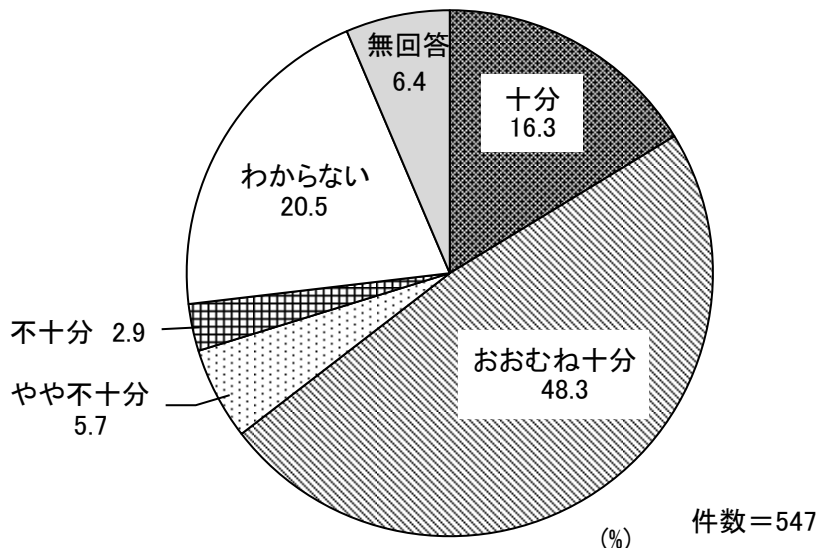
<港区の魅力発信>

- ③ 港区の魅力発信事業（港区産の農作物などを使用したグルメを多団体の連携により制作・販売、社会見学事業等の実施、港区魅力発信パネルの制作・展示、フォトコンテスト）
- ④ 港区のまちづくりに資する講座・事業の開催（アンケート満足度 100%）
- ⑤ 多文化共生事業（多文化共生理解講座のアンケート満足度 100%）
- ⑥ 南陽の農業の情報発信・地産地消の推進（区民まつり等のイベント21ヶ所で南陽の農業の情報発信を実施）
- ⑦ ふれあい給食サービスにおける地産地消のPR（ひとり暮らし高齢者への給食サービスに南陽産米を使用 使用回数6回）
- ⑧ 障害福祉サービス事業所の利用者による農作物収穫体験（実施回数2回）
- ⑨ Facebook「いいトコなんよ。（南陽支所）」の運営（投稿回数87回）
- ⑩ 港区制80周年記念事業（記念式典の開催、記念植樹、記念小冊子の作製、各種魅力発信事業等）

<スポーツ・文化・社会教育活動の推進>

- ⑪ 各種スポーツ大会（各種大会を開催・後援）
- ⑫ みなとフェスタ（文化芸術の作品展示や舞台発表 参加者数654人）
- ⑬ 区民美術展・短詩型文学展・子ども美術展（出展者412人、来場者450人）
- ⑭ 華道展（春450人 秋500人）
- ⑮ 社会教育関係団体の地域活動の促進（女性会主催の「環境バザー」「女性セミナー」、PTAの社会教育活動の支援）

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）

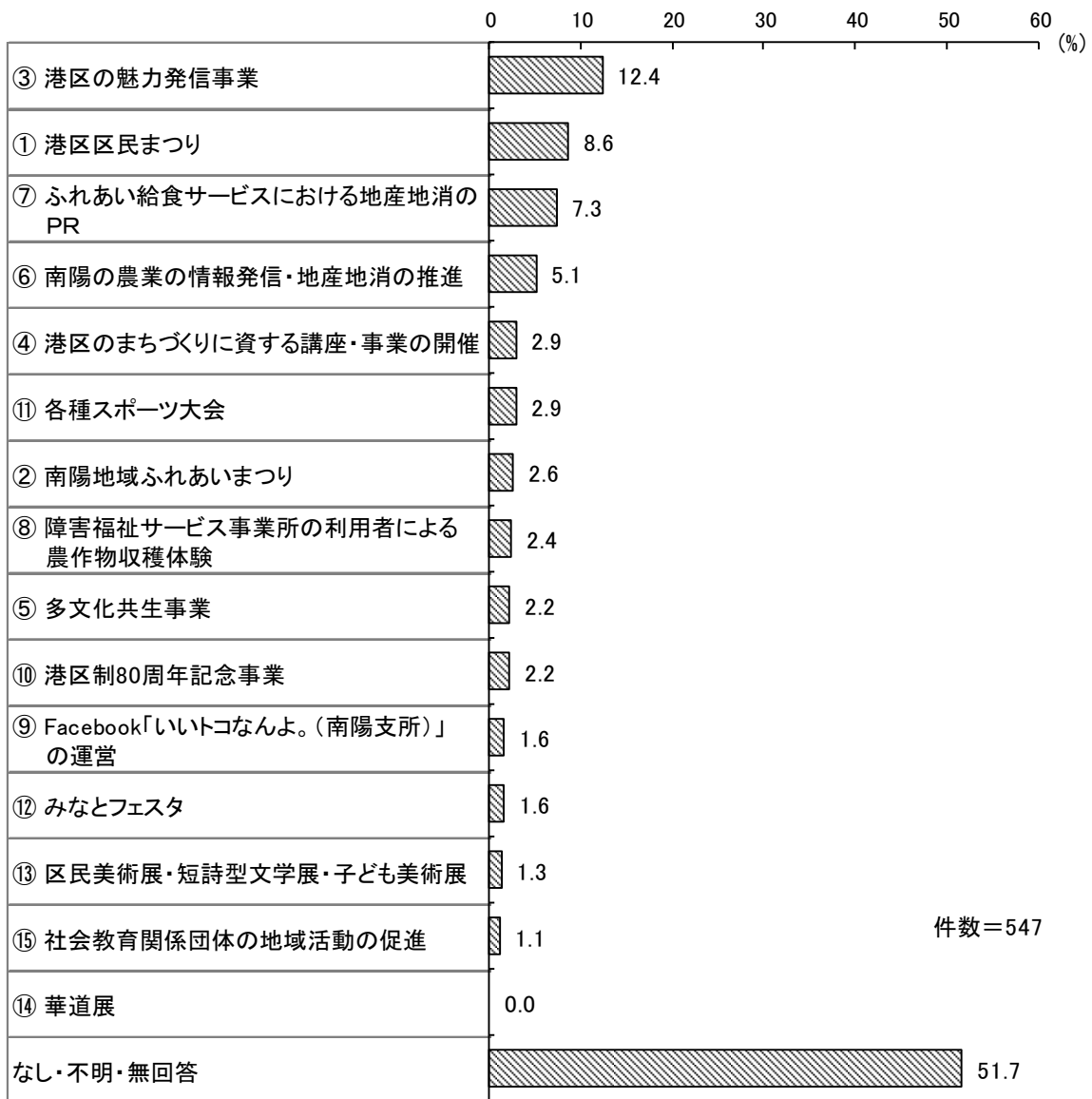


3-4-2. さらに力を入れる事業

○ 魅力あふれるまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「③ 港区の魅力発信事業」が12.4%で最も高くなっている。次いで「① 港区区民まつり」(8.6%)、「⑦ ふれあい給食サービスにおける地産地消のPR」(7.3%)、「⑥ 南陽の農業の情報発信・地産地消の推進」(5.1%)が、それぞれ1割弱となっており、“地産地消”関連の事業も上位に入っている。

また、「なし・不明・無回答」の割合が51.7%と過半数を占めている。

前記、①～⑮の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号(1つ)とその理由をお書きください。



(注:複数回答あり)

3-5. 利用しやすい区役所づくり

3-5-1. 「取組事項」と「主な実績」の評価

○ 利用しやすい区役所づくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「十分」が17.7%、「おおむね十分」(48.4%)を合わせて66.1%と、それぞれ5項目のうち一番高くなっている。一方、「やや不十分」が5.7%、「不十分」が2.6%で、不足と感じる割合は、合わせて8.3%と、5項目のうち一番低く、区民の充足度が最も高い分野となっている。

また、「わからない」が18.1%となっている。

5 利用しやすい区役所づくり

取組事項（主な実績）

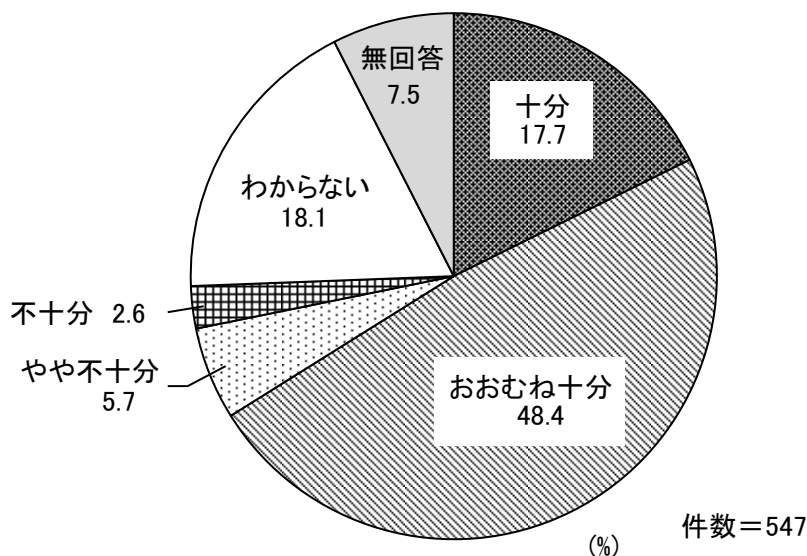
< 接遇満足度 100% を目指して >

- ① 接遇満足度 100% の区役所づくり
(窓口アンケート満足度 「とても満足」と「満足」 97.2%)
- ② 区役所と土木事務所の同一庁舎化
(土木事務所と連携し、「地域課題の早期解決」「防災機能の強化」「便利で迅速な窓口サービスの提供」など、市民サービスの向上を図ります。)
- ③ フロアサービス職員の配置 (対応人数 112,853 人)
- ④ ポルトガル語通訳職員の配置 (対応件数 1,703 件)
- ⑤ 職員研修の実施 (接遇研修等の実施)
- ⑥ 緑のカーテン設置 (南陽支所でゴーヤを栽培)

< 分かりやすい情報発信 >

- ⑦ 広報の充実 (広報なごや港区版と港区ウェブサイトとの連携による効果的な広報など)
- ⑧ 身近で魅力あふれる支所づくり
(「南陽支所だより」の情報発信、園児による作品展の実施 作品展開催回数7回)

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？ (該当する番号を○で囲んでください)



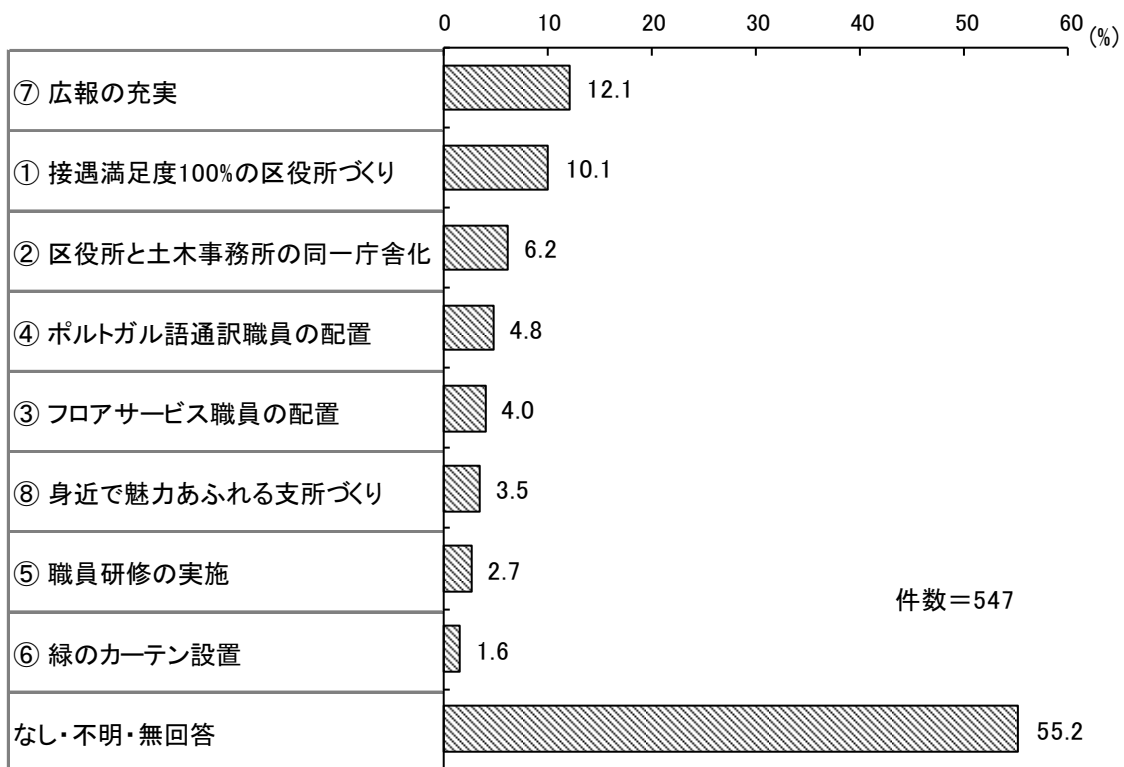
3-5-2. さらに力を入れる事業

○ 利用しやすい区役所づくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「⑦ 広報の充実」が 12.1%で最も高く、次いで「① 待遇満足度 100%の区役所づくり」(10.1%)となっている。

以下、「② 区役所と土木事務所の同一庁舎化」(6.2%)と「④ ポルトガル語通訳職員の配置」(4.8%)が、それぞれ5~6%となっている。

また、「なし・不明・無回答」の割合が55.2%と6割弱を占めている。

前記、①~⑧の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号(1つ)とその理由をお書きください。



(注: 複数回答あり)

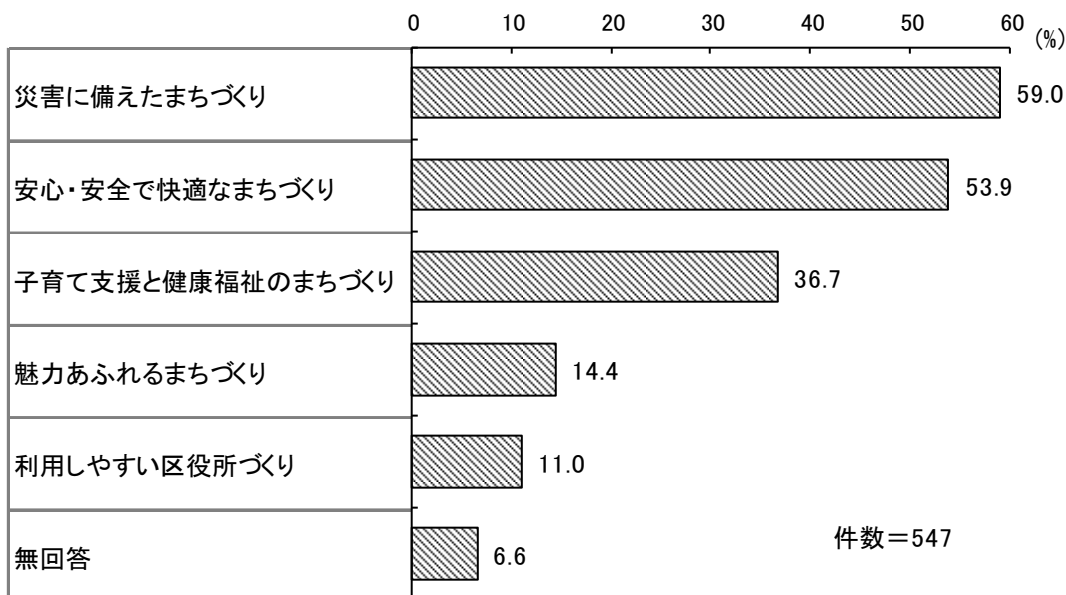
4. 今後取り組んで欲しい分野

○ 今度、港区で重点的に取り組んで欲しい分野としては、「災害に備えたまちづくり」の割合が59.0%と最も多く、次いで「安心・安全で快適なまちづくり」が53.9%で、それぞれ6割、過半数があげている。「子育て支援と健康福祉のまちづくり」は36.7%で4割弱となっている。

前述の「さらに力を入れる事業」で「なし・不明・無回答」の割合が半数以上を占めた2分野の割合は、それぞれ11~14%と比較的低くなっている。

質問4. 今後、港区で重点的に取り組んで欲しいと思う分野を、2つ選んでください。

(該当する番号を○で囲んでください)



5. 港区の魅力について

- 港区役所では前記のような「魅力あふれるまちづくり」への取り組みを行い、港区ウェブサイトにて港区の魅力を情報発信しています。港区が魅力ある区と「感じる」区民の割合は19.6%と2割であり、「やや感じる」(40.4%)を合わせて60.0%と丁度6割が魅力ある区と肯定的な評価をしている。一方、「あまり感じない」(26.1%)と「感じない」(5.7%)を合わせた31.8%と3割が否定的に評価している。

質問6 港区の魅力について次の質問にお答えください。(該当する番号を○で囲んでください。)

港区は、総取扱貨物量日本一を誇る名古屋港を擁するとともに、名古屋港水族館、リニア・鉄道館、レゴランドなどの魅力ある施設のほか、荒子川公園、戸田川緑地、藤前干潟、そして市内最大の水田地帯が広がる南陽地域も併せ持つという様々な顔を持っています。

港区役所では、アンケート5ページにお示したような「魅力あふれるまちづくり」に取り組んでいます。また、港区の魅力発信イベントについては「港区ウェブサイト」で情報発信しています。

港区は魅力のある区だと感じますか。

